#### ~衣笠の浦賀道の道標(みちしるべ)を訪ねて~

文献によると、衣笠の平作川沿いの平地部は古くから交通網が整備されていました。江戸末期(享保5年)に下田奉行から浦賀奉行に移転、浦賀道は東海道の戸塚宿から浦賀へ続く幹線道路でした。昭和24年区画整理が施行、県道27号の整備に伴い、浦賀道は分断されました。

中国より伝来した道教に由来する安心安全を願う庚申塔は庚申塚とも言い、明治時代には数多く撤去されたとのことです。



◆市の道標 残念ですが判読 できないものがあります。



◆市の道標 要所に道標があります。



◆庚申塚 花が手向けられ、今でも大 切に守られています。三猿 も彫られており、猿の並び



◆市の道標 「横須賀古道散策」の 道標があります。



庚申塔の申は干支の申に例えられ、「見ざる言わざる聞かざる」、「青

現存する希少な庚申塚に現在も花が手向けられ、大切に守られている所も

面金剛明王」、道祖神信仰等と結びついたようです。

◆お稲荷さん 食物・農業・殖産興業・ 商業・屋敷の神として 祀られています。



◆供養塔 風化して判読できませんでした。





◆現在浦賀道 昔と変わらないかも知れません。



◆庚申塔群 市指定の市民文化資産です。 寛永16年(1639年)市内最古の 庚申塔です。青面金剛明王も。

#### 



◆大楠山登山道付近の源流 平作川は三浦半島で一番長い河川で、 全長は7.82Kmです。

大楠山阿部倉方面東方が源であり、 川はいくつかの支流が集まり、半島 を横断する断層に沿って流れ、衣笠 地域を流下して久里浜湾に注いでい ます。



◆三浦枕状溶岩

平作万葉公園跡の川筋に三浦半島最古の岩石が見られます。 約4500万年前に太平洋の深海海底火山から流出し、水中にて溶岩の周辺部が急冷却され、枕状になったもので、横須賀市の指定天然記念物です。



◆しょうぶ園

▼しょりか園 江戸時代に新田開発が進み、この 地域に堰と呼ばれるため池が多く 作られ、水田に水を引く大切な役 割を果たしていました。

しょうぶ園もその1つで、その 後平作川洪水防止の調整池となり、 今では花の公園となりました。







◆公郷橋

衣笠十字路を過ぎて、古代寺院宗元寺跡がありました。 奈良時代の後期から平安時代にかけての寺院です。

現在の曹源寺はその遺跡の跡に建てられ、県立横須賀高校の辺りからは、古代瓦などが出土し、多くの学者の夢を膨らませました。公郷橋の親柱には宗元寺の古瓦の文様がデザインされ、 歩道には七堂伽藍のイメージが見えます。

当時の古瓦は、横須賀市の乗越(秋谷)・石井(平作)・法塔(衣笠)・公郷などで作られました。 (若命委員)

## 

### 第17回都市景観フォーラムを開催します!

・テーマ: -東日本大震災に思う-

・日 時 平成24年2月5日(日) 13:00開場 13:30開会

·会場 ヴェルクよこすか6Fホール

・基調講演 東北芸術工科大学名誉教授 高野公男さん

・第4回よこすか景観賞表彰式

・パネルディスカッション

コーディネーター: 志村直愛さん 東北芸術工科大学准教授

(2011年1月世界一受けたい授業に出演)

パネリスト: 佐藤紘志さん(防衛大学校名誉教授)

高野公男さん (東北芸術工科大学名誉教授)

井上憲司さん (県横須賀土木事務所まちづくり推進課長)

安池尋幸さん(横須賀市自然・人文博物館学芸員)

・司会 石川和美さん: FMブルー湘南 制作パーソナリティ

# **Information**

よこすか都市景観協議会賞を募集しています!!

詳しくはHPをご覧ください⇒ http://yokosukakeikan.jimdo.com/

平成23年度 よこすか都市景観協議会会員 [順不同]

○正会員《10団体》

(社)神奈川県建築士会横須賀支部/(社)神奈川県建築士事務所協会横須賀支部/ミーズ設計連合協同組合/(社)神奈川県宅地建物取引業協会横須賀三浦支部/

(社) 全日本不動産協会横須賀支部/ 横須賀建設業関連団体協議会

【(社) 横須賀建設業協会/横須賀建工同志会協同組合/(社) 横須賀三浦建設協会/横須賀電気工事協同組合/横須賀管工事協同組合/横須賀緑化造園協同組合/横須賀三浦塗装工業協同組合】/ 横須賀商工会議所 / (社)横須賀青年会議所/東芝ライテック(㈱横須賀事業所/横須賀市

○打ずーバー会員《3団体》

神奈川県横須賀土木事務所/東京ガス㈱横浜支店/東京電力㈱藤沢支社

委員長:若命陽子

委員:加藤雄治・平野武洋・横川和由・前原博幸・高原健一・竹折輝虎・土屋文代